

令和3年度岩手県高等学校新人大会開催にあたっての確認事項

岩手県高等学校体育連盟

◇ 基本的には、第73回岩手県高等学校総合体育大会に準ずることとする。

1 開催判断基準

実施の可否については、次の事項をクリアしていることを基本とし判断する。

【判断基準】

- (1) 緊急事態宣言等が出され、本県に対し感染対策としての行動制限がかけられていないか。
- (2) 県から感染対策としての県又は市町村に行動制限がかけられていないか。
- (3) 県教委から学校生活及び部活動について、制限がかけられていないか。
- (4) 中央競技団体から示されているガイドライン等と照らし合わせ、問題がないか。
- (5) 県競技団体から開催について、理解が得られているか。
- (6) 会場施設管理者から開催について、承諾が得られているか。なお、競技大会開催前にコロナウイルス感染の影響により、多数辞退する学校がある場合は、大会開催について専門部で検討し判断する。また、検討結果について、高体連事務局に報告すること。

2 競技大会参加にあたっての確認事項

【競技大会前】

- (1) 大会参加にあたっては、必ず生徒本人と保護者の参加意向を確認し、その意向を尊重すること。
- (2) 参加校責任者は、参加する生徒の健康状態（検温・体調）を把握し、体調管理を徹底させること。
- (3) 宿泊が伴わない参加が望ましいが、やむを得ず宿泊を要する場合は、部員同士及び、他の宿泊客との密接を避けるなど感染防止の配慮をすること。
- (4) 競技大会参加前日（会場入り前）までにチーム関係者に陽性者や濃厚接触者等が確認された場合の競技大会参加可否については、所属校の判断・対応とするが、保健所の指示、助言、判断がある場合それを優先する。

【競技大会中】

- (1) 大会当日、体調不良や発熱が疑われる者が出た場合は、その該当者とチーム関係者を接触させないよう隔離し、該当者を速やかに医療機関を受診させる。その際、診察結果が判明するまでは該当者を除く学校関係者は、体調管理をしながら参加出来る。しかし、該当者がPCR検査を受検することになった場合は、そのチーム関係者は大会出場を取りやめ、自宅待機をし、保健所の指示を待つ。
※ 陰性の場合は、競技大会に出場できるが、既に予定していた試合（競技）が終了していた場合は、不戦敗・棄権となる。
- (2) 大会期間中、チーム関係者内に接触者の可能性がある者や濃厚接触者が出た場合、そのチーム関係者は大会出場を取りやめ、保健所の指示を受ける。
※ PCR検査を受検したチーム関係者全員が陰性の場合は、競技大会に出場できるが、既に予定していた試合（競技）が終了していた場合は、不戦敗・棄権となる。

【その他】

- (1) 各専門部が作成している「新型コロナウイルス感染防止に係わるガイドライン」を遵守すること。
- (2) 各競技のガイドラインについては、その競技の大会開催1ヶ月前あたりにHPに掲載。その時期の感染状況によって、掲載後の変更もあり得るのでこまめに確認すること。